

2019年号

2019年4月発行(年1回発行)

発行元: おかや音楽協会



おかや音楽協会情報誌

♪ MUSE

～みんなで紡ごう 音の絹糸～

小口太郎生誕120周年 歌い継がれて100周年

琵琶湖周航の歌

記念コンサート

平成三十年十一月十七日(土)岡谷市文化会館力ノラホールにて岡谷市出身の物理学者であり、琵琶湖周航の歌の作詞者である小口太郎の生誕百二十周年、「琵琶湖周航の歌」百周年を記念したコンサートが開催されました。主催の小口太郎生誕百二十周年記念事業実行委員会の実行委員長を、岡谷商工会議所会頭も務める、おかや音楽協会の林新一郎会長が務めました。今回の記念事業は、小口太郎の功績を顕彰するとともに、太郎の人間性や獨創性を次世代の子どもたちにつなぐことを目的として実施致しました。



当日は主催者を代表して林会長があいさつ、続いて、琵琶湖周航の歌の歌碑を揮ごうした江崎玲於奈さんからいただいたメッセーの披露、琵琶湖周航の歌を日本全国に広めた加藤登紀子さんのメッセービデオが放映されました。コンサートでは「琵琶湖周航の歌」の誕生という演目で、小口太郎の後輩にあたる諏訪清陵高等学校の合唱部の皆さんが、琵琶湖周航の歌の原曲と言われている「ひつじぐさ(吉田千秋作詞・作曲)」と「琵琶湖周航の歌(吉田千秋

作曲/小口太郎作詞)」を披露。

続いて、「琵琶湖周航の歌」もうひとつのゆかりの地と題して、滋賀県立高島高等学校ポート部出身で、現在岡谷市にお住まいの水口友佳さんより、滋賀県高島市での琵琶湖周航の歌に関するお話しをいただきました。講話のあとには、琵琶湖周航の歌ができるまでの再現として、小口太郎とその友人たちになりきった出演者による寸劇の披露もあり、会場を和やかな雰囲気にかけていました。

「琵琶湖周航の歌」アラカルトと題した演目では、岡谷マンドリンクラブの皆さんによる演奏、小島真理さん、青柳美江子さん、宮下大樹さんによる琴とフルートの演奏、カノラータオーケストラによる弦楽合奏が披露されました。また、やまびこ男性合唱団による合唱の披露もされました。

続いての演目は「小口太郎の後輩たち」として、岡谷市立岡谷湊小学校六年生によるリコーダー演奏で「ノスタルジック・エア(金子健治作曲)」、岡谷南部中学校吹奏楽部による演奏で「ワシントンポストマーチ(モースーザ作曲)」「夕焼小焼(草川信作曲)」が披露されました。

「ふるさとを想って」と題した演目では、長野県出身の作詞・作曲家のうたが披露されました。女声コーラスしなの、川岸女声コーラス、ふらつとりの皆さんによる「シャボン玉(中山晋平作曲)」「毬と殿さま(同)」、カノラ少年少女合唱団による「ものものけ姫(久石讓作曲)」「さんぽ(同)」、岡谷せせらぎ会、

岡谷合唱団、歌い人ごんべによる「ふるさと（高野辰之作詞）」「紅葉（同）」がそれぞれ披露されました。

コンサートの締めくくりは、会場に集まった約八百五十名による「琵琶湖周航の歌」の全員合唱。フィナーレにふさわしく会場が一体となる合唱で、その歌声はカノラホールから諏訪湖へ、さらには遠く離れた琵琶湖や小口太郎の耳まで届いたことでしょう。

小口太郎とは…？

小口太郎は、岡谷市出身の物理学者であり、また琵琶湖周航の歌の作詞者であります。明治三十年、諏訪郡湊村花岡（現岡谷市花岡区）に生まれた太郎は、子どもの頃からその才能の片鱗を見せており、市立岡谷図書館に現存している小学校の作文集には、独自性とユーモアがあふれる作文が記載されています。諏訪湖のすぐ近くに住んでいたこともあり、夏は湖で水泳、冬はスケートを楽しむ生活を送っていたそうです。

第三高等学校（現、京都大学の前身の一つ）に進学した太郎は水上部（ボート部）に所属。部の恒例行事である琵琶湖周航の途中、二泊目の今津で太郎は琵琶湖をテーマにした詩を部員に披露しました。この詩を当時学生の間で流行していた吉田千秋作「ひつじぐさ」のメロディーにのせて歌ったのははじまりとされています。

その後は東京帝国大学（現東京大学）理学部物

理学科に進学。在学中に発明した「有線及び無線多重電信電話法」の特許を日本だけでなく世界八か国で取得。同大学の航空研究所で研究を続けてきたが、大正十三年、二十六歳の若さでこの世を去りました。小口太郎の功績、また琵琶湖周航の歌を歌い継ぐと、昭和六十三年に小口太郎顕彰碑の建立、同年に小口太郎顕彰碑等保存会が設立され、岡谷市湊にある釜口橋ふもとの湖畔公園に小口太郎像、歌詞碑、顕彰碑、ミュージックボックスがあります。



小口太郎生誕 120周年 琵琶湖周航の歌 100周年 記念事業コンサート



諏訪清陵高等学校合唱部

歌い人ごんべの皆さんによる寸劇

小口太郎生誕 120周年 琵琶湖周航の歌 100周年 記念事業コンサート



やまびこ男声合唱団

小島真理さん、青柳美江子さん、宮下大樹さん



小口太郎生誕 120周年 琵琶湖周航の歌 100周年 記念事業コンサート



岡谷市立岡谷湊小学校 6年生

カノラータ・オーケストラ弦楽合奏

小口太郎生誕 120周年 琵琶湖周航の歌 100周年 記念事業コンサート



岡谷せせらぎ会、岡谷合唱団、歌い人ごんべ

カノラ少年少女合唱団



小口太郎生誕 120周年 琵琶湖周航の歌 100周年 記念事業コンサート



女声コーラスしなの、川岸女声コーラス、ふらっとり
カノラータオーケストラによる弦楽合奏で全員合唱



岡谷マンドリンクラブ
江崎玲於奈さんからいただいたメッセージ



水口友佳さんの講話 ～もうひとつのゆかりの地～



カノラホールのロビーに飾られたポスター

カノラータオーケストラ弦楽合奏に合わせて「琵琶湖周航の歌」全員合唱



旅は続く

渡辺しおり

今年のオペラ旅は「岡谷サスペンス劇場」この、およそクラシックのコンサートとは思えない題名と、グイグイ迫るチラシに惹きつけられて!? 今年も大勢のお客様がご来場くださいました。

様々な才能を持った地元の人たちが素晴らしい能力を発揮し、知力と体力の限りを尽くし、年末年始もそこそこに準備にあけくれました。そこへ、ベテラン歌手や新進気鋭の歌手の方々が地方の小さな街・岡谷に来てくださり、訳の分からないような熱気の中、プロも市民も一緒になってオペラの世界を繰り広げました。

企画した私にとりましては、演出家の山岡さんのご苦勞もあり、何から何まで思い描いていた以上の出来で、安堵すると同時に深い感動を覚えました。

脚本家でもない私の企画・脚本を全力で体現してくださった皆様には心から感謝いたします。

「すわびとオペラ旅」はこの二回の公演を通して、私の目指している「オペラまがいなものではない本物のオペラ」が創れると確信しました。これから先も、舞台に関わるすべての人たちがオペラという芸術のしもべとなり、お客様の喜びや感動を受け取る幸せのために、楽しみつつ苦勞しなければと思っています。心躍る旅は続きます!





第二回『すわびとオペラ旅』をふりかえって

昨年、試行錯誤の上、初めて上演した「すわびとオペラ旅」は評判も良く、それが二回目の励みや、ブレッツ

シャーになった。渡辺しおりさんの脚本は限られた練習期間で上演可能なギリギリな演出がてんこ盛りになっており、打

合せの途中では「無理かもしれない」の言葉も飛び交っていた。チケット価格も初回より五百円上げたこともあり、お客さんに満足いただける舞台づくりを考えるが、本番ぎりぎりまで変更、変更で「どうなるんだろう？」と他人事のように心配しながら、舞台づくりを行った。

結果、二回目の方が良い出来となった。初回でも感心したのだが、出演者のレベルが高い。ベースが違うのであろう、少ない打合せでお客さんの心をつかむ空間をつくってしまう。第一部のトスカとはギャップのある第二部の名曲ピースの登場人物を演じる姿は別人かと思ってしまうほど、そのキャラクターに入り込む。オペラの出演者は歌と演技が要求されるが、オペラ旅の出演者は皆さん魅力的な役者だ。しかも、小ホールという小さな空間だから、迫力が違う。大劇場でのグランドオペラは舞台装置も大きく、演出も派手だが、小ホールのオペラもお客さんが十分楽しめる演出である。

残念なことは、入場者数が二百八十名と限られてしまう事。今回も、うれしいかなチケットは売り切れとなってしまい、当日券の発売ができなかった。さらにうれしいことはリピーターの数。初回を観て、今回も足を運んでくれた人が多かった。このオペラ旅の目的はオペラを身近に感じてもらう、オペラ人口（出演者とお客）を増やすこと。三回目の打合せが始まっているが、一日二回公演も検討している。協賛をいただいている企業、個人の方も増えているので、次回はさらに多くの方に会場にいただきたいと思う。

舞台スタッフに興味を持つ人も徐々に増え、照明のきかけ出しを行ったスタッフもはまりつつある。スタッフは出演者とは違う緊張感があり、達成感もある。わずか数時間のためにかける労力は出演者と同じくらい長く、劇場に入ると、タイトなスケジュールの中、段取り良く進めるノウハウも必要となる。（ちなみにもぎりや会場案内をする人は表方で、幕の裏で働く人を裏方と言う）第3回に向けてスタッフ参加も大募集中なので、オペラ御柱に向けて、一緒に舞台づくりを楽しみましょう。

よいさ、よいさ、よいさー！



初めての合唱音楽合わせで演出担当から指示が出る



子供と大人の演出打合せ



壁や小道具の手作り作業中



楽譜を見て検討中



「天国と地獄」特訓中（1）



「天国と地獄」特訓中（2）



出演者・スタッフ勢揃いと思いきやまだ数人入っていない！

サタクシ家政婦の「のぞきみたえ」と申します。
皆様、今日はすごいこと
お教えますわね。実はね・・・



オペラ『椿姫』より 乾杯の歌
アルフレードの市川さんとヴィオレッタの金子さん



オペラ『トスカ』より
カヴァラドッシの市川さんとトスカの渡辺さん



『すわびとオペラ旅』特別編成オーケストラ！
Perc.横内さん、Vio.平波さん、E.Org.橋爪さん、Pia.岡崎さん



オペレッタ『天国と地獄』より
ジュピターの佐原さんとユーディリスの渡辺さん



オペラ『リゴレット』より
リゴレットの敷内さんとジルダの金子さん



アンコール
オペラ『御柱』より終曲「すわびとよ見よ！」



音楽劇『笛吹きババゲーノ』より 魔法の鈴の音
すわびとバンビーニの皆さんと
歳本さん、千葉さん、油井さん

ミュージズのたまご



神明小学校三年二組の皆さんが、太鼓演奏をする聞き訪ねた。

子どもたちが一年生の時、学校探検で小口大八さんが寄贈した太鼓を見つけ興味をもった。この好奇心がきっかけで担任の河西一樹先生は、週二時間の『総合的な学習の時間』の中に太鼓の授業を取り入れていた。

先生が「今日のテーマはひじを上げること、自信のある人」と言った。「ハイハイハイ」と手があがった。「太鼓は叩くのではなく打ち込むのだ」と練習が始まった。

神明小には七台の太鼓がある。四人でグループを組んで打つ豊年太鼓(石川県七尾市)・各々三人でグループを組み両面打ちをする秩父屋台ばやし(床に座って足を伸ばして打つ)・三宅太鼓(立って低く構えて打つ)の演奏を聴いた。身近で聴く太鼓の振動、音量の深さとリズム、子供たちの見事な打ち込みで音楽室は太鼓の響きでいっぱいになった。河西先生が独学で学び、子どもにも教える。さらに子ども同士でも教え合っているそう

だ。「秩父屋台ばやし」は去年の秋より習い始めたそうだが、スムーズな動きで次の人に繋げていた。

「こんなに太鼓が楽しいなんて思わなかった」と三年生で始めて参加した子どもが言った。

一年生の時に、クラス全員三十名が自分の太鼓とバチを作製した。(ヒノキ材を使用)

「これ私、手づくりしたの」とバチを見せに来た子どもがいた。

二年生では、大太鼓を作製。塩尻のワイン樽を使い、両面に牛革を張って鋏で止め、持ち手が付いていた。

今年度はクラス替えがあったので、手作り太鼓を持っていない子どもたち二十人が太鼓作りに挑戦をした。また業者に外削りを依頼してあったバチが届いて、バチ作りにも挑んだ。

一年生と三年生で作成した貴重な手作り太鼓を見せてもらった。絵を描いた和紙を*ポイド管の周りに貼る。管の上下に、牛革を張り紐で組み上げ、締めて止めてあった。見るからに複雑な組み方、締

め方がされていて、「難しかったよ」と一人の子が語ってくれた。頑張った太鼓で演奏するのも楽しみですね。

*ポイド管(工事材料の巻き管)で長い管を九等分ぐらいに切断し使用する。

*牛革は乾燥はしてあるが、表側には一部毛が残っていて獣の匂いもする。(牛さんの命をいただいた)

子どもたちは、「命の尊さ」も学んでいた。

費用もかかったのではないかと聞きしたところ、マリーゴールドなどの花の苗を育て参観日に販売。ポプリや畑で収穫した白菜や大根、干し柿を作って神明フェスティバルで販売した。その収益を太鼓作りの費用に当てるそう。

また諏訪神太鼓店(柳澤代表さん)に協力を頂いたり、ワイン樽や牛皮(断裁で残った皮)などを安く提供して下さったりしたことなどで太鼓が出来上がった。

「わくわく太鼓カード」はスナップアップした時にシールを貼るカードで、子どもたちは楽しんで練習を重ねている。

太鼓発表の場は

・PTAの行事

・小井川小学校の「アオギリ二世」の木の前で演奏

(学校には広島で被爆したアオギリの種から成長した苗、「アオギリ二世」が植えられている)

『つむぐ〜絆学び夢〜』

音楽室の窓下に刻まれていた。



コラムカバン ⑨

おかや音楽協会会長 林 新一郎

それは一本の電話から始まった

平成二十九年四月十三日、滋賀県より突然電話が掛かってきました。私は、それまで面識のなかった前滋賀県知事の嘉田由紀子さんと三十分も電話で話を交わし、小口太郎に対する熱き心を感じ取ることができました。嘉田さんの

しいとのお誘いに応じて、私は六月の滋賀県、続く七月の新潟県で開催された記念コンサートに足を運びました。滋賀県・新潟県のどちらのコンサートでも県知事や市長が、加藤さんや嘉田学長とステージに一緒に立って会場を盛り上げていました。

の当時の肩書は、びわこ成蹊スポーツ大学学長でした。嘉田学長は、電話口で、「琵琶湖周航の歌」百周年記念事業として「第一回びわ湖音楽祭」を開催する。この音楽祭は、永年この歌を

新潟のコンサート終了後、ステージ裏の会議室で、嘉田学長や加藤さんから握手を求められ「次は、岡谷ですね。」と、念押しされたことを今でもよく覚えています。

歌い継いでいる加藤登紀子さんのプロデュースで六月末に滋賀県で開催する予定である。更に七月には、この曲の原曲であるイギリス民謡「ひつじくさ」を編曲した吉田千秋の故郷である新潟県でも加藤登紀子さんのコンサートが予定されている。おかや音楽協会会長

その後、岡谷商工会議所、おかや音楽協会、小口太郎顕彰碑等保存会等が中心となって実行委員会を組織。多くの皆さんのご協力を得て、平成三十年十月七日の碑前祭、十一月十七日の記念コンサートの二部構成で、記念事業を開催させていただきました。

であり、商工会議所会頭でもある私に、作詞者の小口太郎の故郷である岡谷で

太郎の功績を歌とともに継承

記念コンサートを是非開催して欲しいとの熱心な呼びかけでした。

カノラホールでの記念コンサートでは、小口太郎の後輩となる湊小学校や南部中学校、諏訪清陵高校の皆さんを

はじめ地元の音楽団体など、子供から大人まで様々な関係者が出演してくださり、物理学者としても才覚のあった太郎の足跡をたどりながら、琵琶湖周航の歌を旧制三高ボート部で歌われていた「ひつじくさ」の旋律、当時の小学唱歌「奈良の都」の旋律、そして森繁久彌さん・加藤登紀子さん等により歌われ、現在一般的に定着している旋律で発表されました。また、長野県にゆかりのある音楽家の作品を合唱と合奏で様々にステージを彩りました。加えて顕彰碑の揮毫者である江崎玲於奈先生のメッセージや加藤登紀子さんの心温まるビデオメッセージも披露され、会場は大いに盛り上がりました。

最後は、出演者や来場者を含めた約八百五十人が心をつなげて歌声を合わせ、感動のフィナーレを迎えました。これは、まさに天上の小口太郎に贈る鎮魂の調べでした。

私は、実行委員長としてこの一連の記念事業を契機に、小口太郎の創造性、先進性を次代を担う子供たちに受け継ぎ、これからも太郎の功績が顕彰されていくことを願ってやみません。



ミュージカル 「ぼくらのゆめ」によせて

おかや音楽さんぽ

暖かった今年の冬。
二月の中旬、長野県福祉大学校に用事があり、門をくぐると、
校舎のどこからか、透き通った綺麗な歌声が聞こえてきました。

金子慶子

その声に吸い寄せられ近づいてみると、そこは体育館。
学生たちの笑い声や動き回りながら歌う若さ溢れるその姿が
なんとも眩しく興味津々目を奪われました。
福祉大学校が三月二日に行う、「卒業音楽会」に向けての
創作ミュージカルの練習真っ最中だったので。



「ぼくらのゆめ」ストーリー
友情と夢の物語

青空小学校2年1組ののぞみ君は、
ゆめに自信を持ってない男の子。
突然だけど、みんなには叶えない夢が、
あるんだ？ 僕にも叶えたい夢
はあ！どうしようかなあ… たんだ…
そして出会ったのは、子ども達の夢
を魔法で叶えてしまう熊の魔法使い
ラック。他の動物たちと平和な魔法使い
かけた。ところが、みんなの夢が大好き
ののぞみ君は夢に自信をもてる
ことが出来るのか。そして

ミュージカルに寄せた想いを聞かせてください

「創作ミュージカル」は、福祉大学校での学びの成果を発表するための総合芸術としてとらえ、保育学科44人全員で力を結集して作り上げてきました。

まずは、どんなストーリーにするのか、何を伝えたいのかのそれぞれの想いを語りあうところから始めました。幼少期から多くの仲間が「保育士になりたい夢をもってこの学校に入学した」との想いが多く語られました。夢に対する想いが強く、“夢は最後まで信じ続ければ叶う”ことが、たくさん子ども達に伝わったら嬉しい、と思ったと



脚本・監督・演出係 音響係・衣装係・大道具係・小道具係・照明係・会計係・係とたくさんの係がチームとして活躍し、ミュージカルが出来上がっていく喜びを味わいました。

ミュージカルの醍醐味でもある“伝えたいことを歌で伝える”ということは、最初はとても難しく、苦勞しました。でも、歌は言葉よ

音響係は劇の内容と動きに合わせ、曲を作り、演奏し、劇を盛り上げます。頑張ります！

これから保育の道を目指して社会に飛び立とうとする若い学生さんの姿は、本当に眩しく、未来への希望でいっぱいでした。

その後、三月二日に卒業音楽会が開かれました。

「音で繋がる心と笑顔」

をテーマに、ひとりひとりの歌声を一つの優しい歌にして聴いてくれる人たちの心に響かせよう、と始まった音楽会。ミュージカルもさることながら、百人で奏でる合唱の響きは圧巻でした。

音楽会で得たもの、それはひとりひとりみな違うでありましょうが、みんなの力が結集したこの活動が、これからの社会生活に大いに力になることを信じてやみません。そして私もまた大きな力を頂きました。

若い力と音楽に感謝！

JAZZ LIVE HOUSE FIVE PENNIES

岡谷市幸町 4-8

☎0266-23-6622 hwsa2.gyao.ne.jp



特徴ある外観で誰もが知るライブハウス FIVE PENNIES。そのオーナーで、ご自身もライブ活動をなさっている岩崎二朗さんにお話しを伺いました。

* FIVE PENNIESを開くきっかけは? *

二十二年前にお店 (Hair club J) を開くときに二階をライブハウスに、と考えました。ジャズが好きで演奏していても、皆が集まる場所が少ないので、作りたかったのです。自宅の楽器やオーディオ機器を運び、思い切つて、同時にオープンしました。

*ご自身はずっとジャズを演奏なさっているのですか? *

本格的に始めたのは、五十歳頃です。それ以前

はビックバンドで活動し、その前はビートルズやグループサウンズでドラムを叩いていました。ジャズは、その時の感情でアドリブ演奏をするので、初めは勝手が違つて苦心しました。今では、ジャムセッションで知り合った気の合う仲間とグループを組み、ここを拠点に、県内のあちこちで、年に数回のライブ活動をしています。年齢関係なく、いろいろな人と演奏できるのは、お互いに刺激になります。音楽をしていればこの繋がります。

*私も、ジャムセッションを聴かせていただきました。その場でメンバーを組んでいるのに、何年も一緒にいるような素晴らしい演奏に感動しました *

現在、毎月第二土曜日のヴォーカルセッション、第三土曜日のジャムセッションが定期的なイベントです。各々楽器を持って集まり、多くのプレーヤーが長く通つてくれていて、毎回熱いセッションが行われています。ここが縁で結婚したり、プロになったり、いろいろありますね。当日、私は厨房と演奏の両方をしながら、誰もが気兼ねなく演奏できるように声をかけています。

* その他のライブも、ジャズ中心ですか? *

ジャズが中心ですが、音楽教室の発表会や仲間同士のパーティー、ハワイアン、フラメンコなどの舞踊でも使つて頂いています。ライブスケジュールは SNS 「Five Pennies」 で発信しています。

* 五月にお勧めのライブがあると伺いましたが *

五月二十五日(土)に、グループ名「Sounds Five」が、ここでライブを行います。女性ヴォーカル、私のサクソ、ピアノ、ベース、ドラムの五名で、私以外は松本方面在住の方がたで、私はさておき、他はレベルの高い、お勧めのメンバーです。数年前のカノラホールでのコンサートでは好評をいただきました。ジャズに興味のある方に、ぜひお越しいただきたいです。

*紙面に掲載できないほど、たくさんのお話をしてくれました。本当にありがとうございました。五月のライブを楽しみにしております *

FIVE PENNIES イベント情報

五月二十五日(土) 十九時開演

チャージ 1,000円

1ドリンク付き 食べ物持ち込み可



アンサンブル Milou



13名のメンバーからなるリコーダーアンサンブルです。
団名のMilouはベルギーの漫画「タンタンの冒険」に登場するお酒が好きな犬の名前から買いました。メンバーが酒好きなのは共通点です。

還暦を迎えたメンバーもチラホラいますが、気持ちは若く、少しでも上達するよう、リコーダー界で有名な北村正彦先生にご指導いただいています。1月に珍しい楽器ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロの伴奏で、ソロの発表会を団内でいり貴重な経験（緊張と感動）になりました。

2020年3月に4回目のコンサートを開催する予定です。ぜひ聴きに来てください。

歌い人ごんべ

歌い人ごんべは、10代から40代までの合唱好きが集まって活動している混声合唱団です。音楽監督の佐原玲子先生と、常任指揮者である松下耕先生の指導のもと、お客様と一体になれる響きを目指して練習に取り組んでいます。

毎年の定期演奏会の他、おかや市民音楽祭などにも参加しています。興味がある方は遠慮なくお声がけください。



tm_ikb_gombe@yahoo.co.jp 池辺

岡谷マンドリンクラブ

還暦。
人間で言えば60歳ですね。そうなんです。私たち岡谷マンドリンクラブも還暦。今秋にはいよいよ第60回目の定期演奏会を迎えることが出来ます。準備も着々進むなか、振り返れば存続の危機もあり、ほんと、笑いあり涙ありの活動をしてまいりました。ここまで来られたのもクラブの諸先輩方をはじめ、家族や友人、音楽仲間を支えられたからこそと思います。全てはその賜と深く感謝し、紙面をお借りして御礼申し上げます。

そこで皆様方にも私たちと共にマンドリンの音色を聴ながら、60年間の思い出に浸ってみてはいかがでしょうか。きっと若き？あの頃を思い出せますよ。宜しくお願いします。



団体会員 紹介コーナー

アイウエオ順

各団体へのお問合せがわからない方は、お
かや音楽協会事務局へお問合せください。
MUSEの協会案内ページを見てください。

岡谷合唱団

岡谷合唱団は毎週火曜日の午後7時から、諏訪湖ハイツの202号室で練習をしています。団員は20名と少人数ですが、アンサンブルを重視した岡谷合唱団の音色を求めて日々の練習です。

昨年暮れハーモ美術館でコンサートを終え、改めて基本に戻り発声、アンサンブルを中心に佐原玲子先生に指導して頂くことになりました。その練習の中からミサ曲、日本の曲をどう歌っていくかが楽しみです。



カノラ少年少女合唱団

カノラ少年少女合唱団は、歌の大好きな小学生から高校生まで、100人近い人数が集まって活動しています。夏の合宿や慰問演奏など様々な活動を行っている中で一番大きな行事は毎年開催している定期演奏会です。今年は11月24日（日）カノラホール大ホールで開催予定です。毎回趣向を凝らしたステージは必見です！ぜひご家族・お友達を誘ってお越しください。

また、団員も随時募集しています。対象は小学2年生～高校3年生、毎週日曜日に練習しています。練習の見学も大歓迎です！



KASAHARA 音楽教室

(岡谷教室・下諏訪教室)

初心者「レッドクラス」～音大レベル「クリスタルクラス」と7つのクラスにレベル分け。頑張り次第で昇級するシステム(小4で6クラス目のゴールドクラスに進級した生徒も・)

中・高校生は、毎週ではない「チケットコース」がお勧めです

2019年12月8日(日)

長野県男女共同参画センター「あいとびあ」に於いて
第22回 KASAHARA 音楽教室コンサート 予定



カノラータ・オーケストラ



2002年に設立された岡谷市を中心に活動するアマチュアオーケストラ。カノラホールを拠点に活動し、定期演奏会やウィンターコンサート、また地域のイベントにも積極的に出演しています。団員は岡谷・諏訪・伊那・松本方面など、様々な地域から集まり、日々練習に励んでいます。

2019. (公演情報)

8/4 @ 14:00 開演 **第18回定期演奏会**

【会場】カノラホール 大ホール

【曲目】ドヴォルザーク:

交響曲第9番「新世界より」ほか

【料金】全席自由/一般1,000円

4月14日発売開始

*12月22日 ウィンターコンサート

(団員募集)

【練習】毎週水曜日

ときどき土曜日あり

19:30～21:30

【団費】月額2,000円

(他に、演奏会費等あり)

【会場】カノラホール

または市内各施設

お問合せ: 0266-24-1300 カノラータ事務局 (カノラホール内)

川岸女声コーラス

コンサート “星合”

2019年7月7日(日)

カノラホール大ホール

14:00 開演 (13:15 開場)

一般1,000円 高校生以下無料

七夕にお会いしましょう

ご来場を心よりお待ちしております

混声合唱団 岡谷せせらぎ会

混声合唱団岡谷せせらぎ会第65回コンサートは、11月10日(日)の午後14時に、カノラホールにて開催されます。ステージ構成は、次の通りです。

第1ステージ:世界的な人気のあるIvo Antogniniら現代の作曲家による宗教曲を演奏します。

第2ステージ:地球の詩、HEIWAの鐘、光のらせん、など大人でも歌って聞いて楽しい、スクールソングを演奏します。地球環境や平和を考えるよい機会となります。

第3ステージ:平成時代が区切りを迎える今、年配には懐かしく若人にとっては新鮮な、昭和を含めたポップスの合唱を歌います。以上、バラエティに富んだステージ構成ですので、老若男女問わず楽しい時間をお届けできるものと確信しております。是非、お越しくださいようお願いいたします。



女声コーラスしなの

私たちが大切にしていることは、みんなで楽しく歌うこと、そしてより美しいアンサンブルを目指すこと、聴いて下さる方々がいいなあと感じて下さること、ついでにアンチエイジング!などです。そんな思いから昨年度も介護施設や高齢者学級そして子供たちの前で歌わせていただきました。更には外国の合唱団との交流も楽しみました。昨年の8月には台湾の合唱団を岡谷にお迎えして交流会を行い、10月には私たちが台湾に伺い二つの合唱団とジョイントコンサートを開催しました。言葉は余り通じなくても歌さえあれば歌っていいなと感じられた素敵な時間でした。さて今年度の第一の目標は自分たちのコンサートでたくさんの皆様へ歌声をお届けすることです。2019年10月5日(土)午後2時からカノラ大ホールに於いて「第15回演奏会」を開催します。カノラホールでお待ちしています。



スズキ・メソード岡谷諏訪支部

音にいのち在り (鈴木 鎮一)



スズキの音を、
おかやのまちから日本に、世界に!

音楽教育を通して、次代を担う文化人を送り出します。

スズキ・メソード
岡谷諏訪支部

事務所 Tel. 28-9171 (マサザワ)
E Mail suwaokaya1@hotmail.com

人・音・夢

平成28年度 おかや音楽協会活動

- ・総会 交流会 五月二十日(日) 諏訪湖ハイッ
- ・歌いつこう！日本のうた(歌魂講座) 五月十九日(土) 七月二十二日(日)
 - 十一月十八日(日) 一月十三日(日) いずれもカルチャーセンター
 - 九月二日(日) カノラ小ホール 三月十日(日) 諏訪湖ハイッ
- ・岡谷市放課後子ども居場所づくり事業での歌の集い
 - 川岸小学校 とちっこひろば 上の原小学校 うえのはらっぱ
- ・カルチャーセンター・公民館主催事業での歌魂の講座への講師派遣
 - いちい学級 (湊、長地、川岸各公民館、カルチャーセンター) 乳幼児学級 (湊公民館)
- ・秋の Museum Concert 九月三十日(日) 市立岡谷美術考古館
 - 出演団体 ◇カノラター・アンサンブル ◇アンサンブルスワン
 - ◇アンサンブル Willow ◇Slow Birds ◇岡谷熟年歌唱会
- ・おかやフェスタ 十月六日(土) 岡谷市民音楽祭 BRSステージ
 - 市立岡谷美術考古館テラス
- ・出演団体 ◇上の原小学校音楽クラブ(吹奏楽) ◇ごちゃませウインドオーケストラ
- ・諏訪湖マラソン応援隊実施 十月二十八日(日)
- ・第七十五回岡谷市民音楽祭 十一月三日(土) カノラホール大ホール
- ・出演団体 二十九団体 参加者約二千名 お客様五百五十名

- ・小口太郎生誕120周年・琵琶湖周航の歌100周年記念事業コンサートへの協力
 - 十二月十七日(土) カノラホール大ホール
 - ◇岡谷マンドリンクラブ ◇カノラターオーケストラ ◇カノラ少年少女合唱団
 - ◇川岸女声コーラス ◇女声コーラスしなの ◇ふらっとり ◇混声合唱団岡谷せせらぎ会
 - ◇やまびこ男声合唱団 ◇岡谷合唱団 ◇歌いんこんべ ◇諏訪清陵高等学校合唱部
 - ◇湊小学校の学年 ◇岡谷南中学校吹奏楽部 ◇小島真理・青柳美江子・宮下大樹
- ・「The Power Of Music」十二月十八日(土) レイクウオーク
 - 出演団体 ◇カノラタータ金管五重奏 ◇ごちゃませウインドオーケストラ (市民音楽祭公募団体)
 - ◇ウインズファミリア ◇小松チヒロ Mass Choir ◇東海大学付属諏訪高等学校吹奏楽部
 - ◇すわ湖会 ◇小松チヒロ Mass Choir
- ・歌魂クリスマスコンサート カルチャーセンター ホリディスクエア 十月八日(日)
 - 出演団体 ◇おかや音楽協会歌魂青年隊 ◇アンサンブルスワン ◇Slow Birds
 - ・ラララ・カンガルー 第六回親子deわくわくコンサート 十一月十六日(日)
 - 音協共催事業 諏訪湖ハイッ
 - 二〇一八年
- ・岡谷市新年祝賀会 一月四日(金) オペラに親しむ会部会(渡辺しおり 他) 出演
- ・第二回「すわびとオペラ旅」一月十七日(日) カノラホール小ホール
- ・講師派遣、演奏者紹介
- ・各種コンサート後援
- ・おかや音楽協会会報「MUSE」発行

ふらっとり

こんにちは、ふらっとりです。
私達は楽しく仲良くを合い言葉に子育てをしながらコーラスをエンジョイしています。

今年も私達を待っていてくださる方々にたくさんの歌を届けられるよう頑張って練習しています。

一緒に歌っていただけるメンバーも募集中です。



どうぞよろしく
お願い致します。

やまびこ男声合唱団

気がつけば創設依頼20年を過ぎ、高齢者集団になり、療養してる団員が目立ちますが、重厚なハーモニーを求め続けています。昨年12月第10回定演を開催、今年4月にはJAMCA(日本男声合唱協会)の演奏会に有志が無本で合同ステージに望みます。

またここ10年位はボランティア活動として、諏訪地域の高齢者施設に年数回、慰問演奏を行い、男声ハーモニーを届けてます。

これからはもっと楽しむ男声合唱を続けていきたいと考えています。



ラララ・カンガルー

♪子育て中の音楽好きママが集まった「ラララ・カンガルー」お陰様で、今年は結成8年目を迎えます。
仲間の輪が広がり、メンバーは現在27名に増えましたが、仕事の関係で県内各地に点在していたり、小さな子供を抱えていたりして、準備・練習の時間は満足に取れませんが、これまでの経験や技を活かして年に一度のコンサートを盛り上げます。昨年度は乳幼児学級の講座依頼をいただいたり、音協の催しへ参加させていただいたり、ほんの少しずつではありますが、新しい事への挑戦をしています。年々「親子で参加できる音楽コンサート」を目指して、楽しいプログラムを企画していきます。



カノラホール開館30周年記念コンサート
30 ANNIVERSARY CONCERT
TSUKEMEN IN CANORA

平成の時代とともに、30年間の時を刻んできた岡谷市文化会館カノラホール。記念すべき30周年の節目に、ホールは新たなる可能性へと挑戦をはじめ。諏訪出身の佐田大陸がリーダーをつとめるインストゥルメントユニット「TSUKEMEN」をゲストに迎え、カノラホールにゆかりの深い地元団体との夢の共演が実現！

内容： TSUKEMENコンサート

TSUKEMEN&カノラ少年少女合唱団&カノラータオーケストラ&歌い人ごんべ ジョイントコンサート



日程： **2019年11月17日(日)** 午後3時開演

チケット： 全席自由 (一般) **5,000円** (前売り券) **4,500円**
(高校生以下) **2,000円**

場所：カノラホール大ホール

出演者：TSUKEMEN (リーダー：諏訪市出身 佐田大陸)

カノラ少年少女合唱団・カノラータ・オーケストラ・歌い人ごんべ・ほか有志のみなさん

後援：岡谷市／公益財団法人おかや文化振興事業団／おかや音楽協会／(株)ANY／岡谷市商工会議所／諏訪信用金庫 ほか
主催：カノラホール30周年記念コンサート実行委員会

おかや音楽協会 賛助会員募集のお願い



おんたで紡ごう
音の絹糸 ♪

そのためにおかや音楽協会はこのようなことをおこないます

- ・岡谷市民音楽祭の運営
- ・さまざまな音楽情報掲載の会報誌（MUSE）の発行
- ・情報発信のお手伝い（コンサートの宣伝や会員募集など）
- ・音楽仲間相互の交流イベントの開催
- ・音楽によるまちづくりの企画及びイベントの開催など

***** 音楽を通じてのまちづくり実現のために
ぜひおかや音楽協会にご協力ください *****

ご入会をお待ちしています！

♪賛助会員 会費(年会費) 一口 **5,000円**
4月1日から翌年3月31日までの1年間です。

♪協会発行の会報誌(MUSE)、ホームページ等に、賛助会員の方のお名前を掲載いたします。

♪入会のお申し込みは、申込書(別紙)を事務局宛にお出してください。

♪会費は、現金納入または、下記の口座への振込をお願いいたします。

 ゆうちょ銀行

口座記号番号 00530-6-100936

加入者名 おかや音楽協会

ゆうちょ銀行以外からの振込用口座番号

○五九(ゼロゴキユウ)店 (059) 当座0100936

<お問い合わせ先>

事務局 高木千奈美(TEL・FAX 0266-22-1965)〒394-0004 岡谷市神明町4-4-1

人・音・夢

『世代をこえて百曲を歌おう』

定価**1,000円**(税込)

笠原書店本店および事務局で取り扱っております





Special Thanks (敬称略・アイウエオ順)

◆賛助会員のみなさま◆

社会保険労務士法人 有賀事務所
 今井整形外科医院
 (株) 笠原書店
 サツマ外科医院
 佐原音楽教室
 (株) 信濃屋
 宗教法人照光寺
 たんぽぽ学習塾
 (株) 豊島屋
 (株) フキドウ
 (株) 丸真製作所

◆団体会員のみなさま◆

アンサンブルMilou
 歌い人ごんべ
 岡谷合唱団
 岡谷熟年歌唱会
 岡谷マンドリンクラブ
 カノラ少年少女合唱団
 カノラータ・オーケストラ
 川岸女声コーラス
 混声合唱団 「岡谷せせらぎ会」
 女声コーラスしなの
 スズキ・メソード 岡谷諏訪支部
 ふらっとト
 やまびこ男声合唱団
 ラララ・カンガルー

おかや音楽協会広報部
 MUSE編集スタッフ

今井康善 金子慶子
 小松穂乃香 佐原 武
 林 みな 増澤初美
 宮坂久恵 宮澤綾乃

